

東京ニュース
No.99
2006.11.16



❖ 「国」のために戦うことはない

大阪府狭山市 東 良江
すべての人に、母があり父がある。愛する人がいるのですから、何も戦うことはないのに。ましてや「国」という枠の為に戦うことはない。

❖ 「ニュース」心待ちに

大阪府和泉南郡 佐野 稔
いつもニュースをお送り戴き有難うございます。心待ちにいたしております。ご健闘を祈りあげます。

❖ 多彩な情報に感謝です

高知県南国市 森岡侑子
多彩な、そして重要な情報に接する機会を与えていただき、感謝しています。最少の会費（シニア）で恐縮ですが、今後ともよろしく願います。

❖ 鶴見さんの話はとても良い

東京都町田市 山口幸夫
六八歳になりました。No.98号の、鶴見さんの話は、とてもいいですね。次号を期待しています。

❖ 変質した中央紙には望めない

群馬県前橋市 秋草美俊

会報98号拝見。実に、内容豊かな会報ですね。鶴見俊輔さんの講演記録は、貴重なものです。このようなお話が一般の人の目にふれるように、中央紙がとりあげればいいのですがね。変質してしまつた現在の報道各社に望むのは、むりでしょうが。

❖ 「ニュース」は世の中の悪化を反映

神奈川県横浜市 野沢 真
ニュースの内容が、一層充実にしてきましたね。でも、世の中の悪化を反映しているかと思うと、素直には喜ばませんね。

❖ 安倍政権は、旧「軍」の指導者の戦争責任を取れ

山形県山形市 三浦恵美子
美しい国をつくるという安倍さんに、先の戦争の国民にたいする軍の指導者の責任をさちつとり、靖国の参拝をしてほしくないです。

❖ 「九条を守れ」でなく「九条実現」が本当

愛媛県西予市 大西武将
P.30「新刊書紹介」で、本の値段も書いてあればいいかなと思いましたが。次からお願います。

マスコミが報道しない情報、見方が「ニュース」で分かり、勉強になります。

「九条を守る」ではなく、貴会の言う「九条実現」こそが本当に九条を守り、恒久

平和への道を開くものであると思います。健康に気を付けて、頑張りましょう。

❖ 手を取り合つて「教育基本法」を守る

千葉県市川市 塩川希代子

柳下繁一

東京の「日の丸・君が代」判決、痛快でした。石原都知事は控訴しましたが、権力の乱用です。しかし、その抛り所の「教育基本法」、絶対に守らなければなりません。様々な人達と手を取り合つて。

❖ 教育基本法改悪阻止へ

愛知県名古屋市中 伊藤 出
何としても、教育基本法の改悪を阻止しましょう。

❖ 抵抗の方法を考えよう

茨城県水戸市 柳澤悦子
ついに小泉氏も退陣しましたが、さらに悪くなりそうで、本当にどうなつてゆくのか心配です。どういつ対抗・抵抗の方法が有効なのか。

❖ 安倍政権の危険を知らせよう

東京都中野区 近藤悠子
本質をかくし、美辞麗句の安倍政権。さまざまな方法で、多くの人に危険を伝えていきましよう。

❖ 本当のことを言うのと発禁になる?!

徳島県海部郡 藤田 恵
九条が改悪されると同時に「公益及び公の秩序」を楯に「ニュース」等は発禁

セージの贈り物です」と「九条せんべい」を手渡しました、この春、福島市を訪れた「もったいないの日本のコトバを世界のコトバへ」と提唱するノーベル平和賞のケニヤのワンガ・マータイさんに「もったいない九条せんべい」を作りアフリカの子に贈りたいことを話し合った。

そして、この秋、友人の中学教師が属する私立女子で創立百二十周年記念事業としてニューヨークから招いた、二十二歳の時占領軍の民生局員として男女同権の憲法二十四条を作成したベアテ・シロタさんに九条せんべいと「二十四条せんべい」を手渡し、二十四条も九条も当時世界の叡智を集め作成したものでだれが作るうが、いいものはいいので、それを六十年守り続けたのは日本の文化だ。九条改訂に反対し、二十四条、九条を世界へ拡げ伝えて行こうと語り合った。

私は今、十三歳でB29の焼夷弾の雨の下から六十年を生きたのび、三人の孫たちがその年齢に近づく姿を見て、日本国憲法の前文、最高法規、国民の権利等の各条を、英文、中国語、ハンゲル語での焼印を、余生の仕事として作り続け、遺したいと念ずるようになった。そして私の死後、いつかこの「憲法焼印」を使用し、世界の子ども、女性へ、だれかが大きく広めて行くことを願い、また、「昔、日本に戦争と武力放棄の憲法があったの

だ」と、戦乱の中で思い出すような世界にならないことを願う。

(せがわ・みつお 元仙台平連七十四歳)

九条実現 へんろ道中記

野津いさお

私は今、四国讃岐路を遍路姿で歩いています。意見広告賛同呼びかけちらしや『非武装パンフ』などをリュックに詰め、歩きだしてから八日、昨日は知る人ぞ知る捨身ヶ嶽禅定を、鎖につかみながら登って来ました。

今回の遍路は逆打ち（札番号の順に巡るのを順打ち、逆に廻るのが逆打ちと言います）ですので、歩き遍路とは必ず路上ですれちがいます。すれちがった人には立ち話をし、納め札（注）を交換して別れます。私はこれにちらしを添えて渡しました。セリフもだんだん決まってきました。「今の日本は悪い方向に向かっているように思えてなりません。色々の考えがあつて然るべきですが、それを許さない国になりつつあるように思います。これでいいのかなとの思いで遍路に出ました。私はある市民運動を手伝っています。詳しいことはこのちらしをご覧ください」と。

反応は区々です。殆どの人が無表情で聞くばかりです。声高に異を唱える人は殆どいません。ある若者は「武力は必要だ」と思う。武力を持つていなかったためにチベットは中国に侵略された。だけに自分は兵隊に行きたくありません」と最後は他人事になってしまふ。

へんろ休憩所を提供しているKさんは、私は自民党宮沢さんの流れを汲む立場だがと前置きして、「北朝鮮のテポドンを言うけれど、誰も見た人はいないし、証拠もない。人が騒いでいる裏で、重要な法案がどんどん通ってしまった。政治となると一筋縄ではいかない。憲法九条の問題も同様奥が深い・・・」など一時間近く話し込んだ。私の特性納め札（表裏で平和は創れない、よみがえれ九条！ 裏・日本国憲法第九条条文、いずれも木版）を備え付けノートに顔写真付で貼り付けて下さった。（立ち寄る遍路はいやが応でも目にするようになる。）八十番札所国分寺門前の若者たちが自力で立ち上げた食堂や、無言館のポスターを店入口に貼ったうどん屋などではちらし、非武装パンフ、「殺すな」シールを置いて来た。店を出る時、甘酒や麦茶ボトルのお接待を受け、九条実現遍路冥利に尽きるひとときです。

納め札コレクターに無理矢理、車に乗せられたり、四国遍路のために来日した

になる恐れ大です。何としても憲法改悪を阻止するため、よろしくお願いします。

◆無言館の絵に見入ります

東京都品川区 いしがき京子

貴重な「ニュース」良く読んでおります。中身もさることながら、表紙の「無言館の絵」に思わず見入ります。「一枚の絵」に久々に感じ入っております。

◆読者懇談会は楽しい

東京都あきる野市 佐橋弥生

「へえ、そうなんだ。」「オー、やつぱりね。」と、知らぬこと、知りたかったことを生で聞ける読者懇談会。

今回は「靖国問題とは何か」の辻子実さんが講師でした。ご持参くださった靖国神社、遊就館パンフ等を見ながらの、ユーモアあふれるお話に、時のたつのを忘れて聞き入りました。

何も言わず聞いていてもよし、自分の言葉で意見を言うのもよし。たった三百円で知識欲を満足させてもらえる読者懇談会。次回はどんな話かと、今からわくわくしています。



孫たちへ 私の小さな世界遺産

「英文・日本国憲法九条（焼印セツト）」

瀬川満夫

ベトナム戦争の頃と思うが、一人だけの仕事場（焼印作り）でラジオからの国会中継に耳をかたむけていたら、若い革新系の議員の質問かと思うが、それに保守系の大臣だったか次官だったかが「憲法九条九条とそんな青臭い書生のような理想論で、国が守れるか、めしが食えるか」との主旨の声高な答弁が耳に残った。

論理的には、九条が防衛（軍事）費を抑制してきたので、生活のための経済が成長し、めしが豊かにたべられるようになったので、感情的にはこの答弁は分からぬわけではないが政治家の発言としては全くのあやまりで、公務員失格である。

私はこの答弁から一つのアイデアがひらめいた。それは昔、父が瓦せんべい用の芭蕉の句を焼印にし、少年の私それぞれをリュックに背負い東日本一円の和菓子屋を一軒一軒訪ね売り歩いたことから「そうだ、今、九条の条文の焼印を作り、それを手焼きせんべい屋に持ち込み焼き上げてもらい『九条（せんべい）』はたべられます、これをたべられず命を失っているアフリカの児たちへ届けたい、これが九条での国際貢献！」と。

小泉前首相が憲法前文の全文から「国際貢献で名誉ある地位を占めたい」との一行だけつまみ出し、ブッシュ政権からの自衛隊イラク派兵依頼に込んでいることが国際貢献と、憲法の心を全く逆用している発言に怒りを覚えた。

そして日米軍事同盟によって「集団的自衛権」の名で「ブッシュの戦争」に協力力の「日本軍」の海外参戦への途に通じる「九条改訂」への準備としての「国民投票法案」が国会多数で可決されたら：との思いにかられ、国民一人一人がその一票をお茶の間から「九条改訂ノー」へ投じていただくには、これまで選挙に行かず政治に無関心な層に、先ず九条の条文を読んでもらい、またその「成り立ち」が、お茶の間で話題になるよう「九条せんべい」を供することが出来ればとの思いに駆られています。

今年始め、このせんべいのことを知った地元テレビ局から「だれに一番たべて欲しいですか」との質問に「ブッシュ大統領と小泉首相です。どんな味がしたか聞きたいですね、両者にもインタビューして」と答えた。

私の行為に共鳴してくださる私立中学の教師が「九条を守るから九条を世界へ報せよう！」との提案で、来仙する海外のアーティスト（イムチジ合奏団等）たちへ「仙台市民から、日本から平和メッ

シアトル在住のアメリカ人と同宿になったり、泊るところがなく、モーテルに泊ったり（ちなみに、通常宿泊料六千円のところ、遍路特別価格四千円というのがいい）、エピソードには事欠かないが、遍路を終えてから、これらのエピソードを主題に、憲法の話をつまにして、日常会話を楽しみたいと考えています。

（注）納め札 参拝後、自分の氏名住所を書いて奉納するもの、これは一種の名刺代りのようなもので、道を尋ねたり、お接待を受けた人に手渡す習慣がある。

（のづ いさお・本会会員）

《訃報》

自主講座「公害原論」で知られ、多くの反公害運動に大きな影響を与えた宇井純さん（沖縄大学名誉教授）が十一月十一日午前、東京都内の病院で亡くなった。七十四歳。宇井さんは市民意見広告運動の賛同者だった。謹んでお悔やみ申し上げます。

宇井さん、弔辞は書かないよ

井上澄夫

東大工学部（東京都文京区本郷）で宇井純さんに初めて合ったのは、一九七三年だったと思う。ベ平連（ベトナムに平和を！市民連合）が終わりかけていた時期に、鶴見良行さん（故人）を校長とする「アジア勉強会」が続いていて、私は生徒の一人だった。（ベトナム）から（アジアと日本）の関係に目を開かれた私は、同窓の平山隆貞さん（故人）と共に東大の外にあった自主講座分室を拠点に、日本企業によるアジアへの公害輸出反対運動を始めた。私たちの話を聞いて宇井さんは、即座に協力を約束した。あの笑顔は目に焼きついている。

宇井さんは何より現場の人だった。水俣病の患者さんとの関係が象徴するように、まず公害の被害者に会い現地調査を繰り返した。その成果が工学部の教室で長期にわたって続いた「公害原論」の自主講座に反映されたのだが、講座の講師は多くの場合、公害と闘う漁民や農民、労働者だった。「東大の先生」が支援に駆けつけたことに感動した現地の住民が「象牙の塔」の階段教室の講師席で、つつかえつつかえ、訥々と思いを語つ

た。だから自主講座は、無数の反公害の活動者を生む豊かな土壌になった。宇井さんの研究室はあたかも「解放区」だった。すべて現場からものを考える宇井さんの作風は「公害原論」に触れた多くの若者たちの生き方に深く染み込んだ。その彼女ら・彼らの多くが今も各地の反公害・反原発住民運動を支えている。

宇井さんは一口にいえば、「義理と人情」の人だった。公害発生源の企業や行政との交渉では厳しかったが、公害に苦しむ人びとのおつきあいは、腰の低い、誠意あふれるものだった。私の活動者としての半生はベ平連から始まったが、十数年にわたる自主講座での活動はベ平連でのそれより長い。ベトナム反戦市民運動と反公害住民運動とが私をつくった。宇井さんは先輩だったが親しい同志でもあった。宇井さんを支えた松岡信夫さんも安川栄さんもすでにいない。宇井さんも逝った。しかし私は宇井さんと長く活動を共にしたことを誇りに思う。できれば宇井さんの生き方に連なりたい。だから、宇井さん、「弔辞は書かないよ」。

（いのうえ・すみお 本会会員）